

「PED防疫対策の再徹底」

愛知県でPEDの発生がありました（再発）

愛知県のPED発生状況5（H29.9～）

例数	農場所在地	発生日 (遺伝子検査陽性)	飼養頭数	発症頭数 (通報時)	死亡頭数	平成26年2月からの情報	
						例数	備考
1	田原市	H29.9.27	2,600	肥育豚2頭	0頭	117	90例目と同一農場
合計			2,600	2	0	発生実農場数：66農場	

・国の集計（9月から8月）に合わせて整理。



豚流行性下痢(PED)の発生状況 (平成28年9月以降の発生について)

発生都道府県	初発事例確認日	発生件数	発生農場数		非発生農場割合	発症頭数	死亡頭数	頭数の最終確認日
			発生農場数	非発生農場数				
青森県	平成28年11月2日	1	0	1	100%	9	0	平成29年2月13日
茨城県	平成28年12月21日	18	1	17	94%	8,454	818	平成29年7月19日
栃木県	平成29年2月5日	3	1	2	67%	868	164	平成29年6月30日
群馬県	平成28年11月29日	6	0	6	100%	2,543	315	平成29年4月10日
埼玉県	平成28年12月26日	2	0	2	100%	432	160	平成29年5月17日
千葉県	平成28年11月7日	16	5	11	69%	17,944	1,179	平成29年6月2日
新潟県	平成28年11月21日	1	1	0	0%	270	145	平成29年5月31日
静岡県	平成29年3月15日	1	0	1	100%	200	150	平成29年4月11日
愛知県	平成29年1月8日	10	7	3	30%	1,441	835	平成29年8月18日
愛媛県	平成29年1月24日	2	0	2	100%	265	66	平成29年7月3日
佐賀県	平成29年2月19日	1	0	1	100%	286	265	平成29年5月7日
長崎県	平成29年3月29日	2	0	2	100%	118	41	平成29年5月10日
熊本県	平成29年1月29日	5	0	5	100%	2,094	366	平成29年6月1日
宮崎県	平成28年11月26日	4	4	0	0%	796	556	平成29年2月15日
鹿児島県	平成28年10月30日	3	1	2	67%	8,557	2,056	平成29年7月19日
合計	15 県	75	20	55	73%	44,277	7,116	

県の取りまとめによる累計数。
 発生件数については、平成28年9月6日～平成29年9月3日のもの。
 平成29年9月3日までに発生した農家で9月4日以降も継続して発症、死亡した頭数を含む。

飼養衛生管理の徹底

- ・ 関係者以外の農場への立入制限
- ・ 人及び車両の出入りの際の消毒の徹底
- ・ 排泄物のこまめな処理、豚舎消毒の徹底
- ・ 豚舎専用長靴、衣服の使用
- ・ ネズミ、野生動物等の侵入防止
- ・ 消毒は糞などを除去してから、適切な濃度の実施
(一般的に消毒薬は、冬場は夏場より濃い濃度が必要です)
- ・ 農場を訪問する獣医師、飼料運送業者、死亡畜取扱い業者にも、長靴、衣服の更衣、手指消毒、車両、パレット消毒の徹底

ワクチン接種

国内で使用しているワクチンは、国内で流行しているPEDに有効です

☞ ワクチンの効果を十分引き出すために

- ①衛生管理の徹底（不衛生な環境では母豚の抗体が上昇しにくいです）
- ②母豚へのストレス低減
- ③母豚が十分に乳汁をだしているか、子豚が十分に哺乳できているか確認しましょう
- ④用量・用法を守りましょう 分娩前2～8週間の間隔で2回注射
(子豚や肥育豚に注射しても効果はありません)

早期通報

主な症状は、元気消失、食欲不振、嘔吐及び水様性下痢ですが、様々な症状を示すため、TGE、豚口タウウイルス病、大腸菌性下痢、サルモネラ症などとの鑑別が必要です

* 異常を認めた場合は、速やかにご連絡ください

★異常を認めた場合は家畜保健衛生所に連絡してください

連絡先：0574-25-3111

土日・祝日・閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください
つながらない場合は0574-25-3484 にお願ひします

中濃家畜保健衛生所

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092